

鐵之的

全

學術秘傳書

共廿四本

加

| | | | |
|------|---|---|--|
| 內閣文庫 | | | |
| 五 | 二 | 和 | |
| 四 | 四 | 書 | |
| 函 | 六 | 類 | |
| 一 | 號 | | |
| 五 | | | |
| 架 | | | |

| | |
|------|----------|
| 內閣文庫 | |
| 番號 | 和 24746 |
| 冊數 | 24 (5) |
| 函號 | 154 216 |



又そのころの皇代三代の事

浅草文庫

倭の事大の神代史の事先の心作を云ふ

とんもまことなるれとまはさけくはまゝに問ふ

仁徳天皇の御代に於ては神代史の事先の心作を云ふ

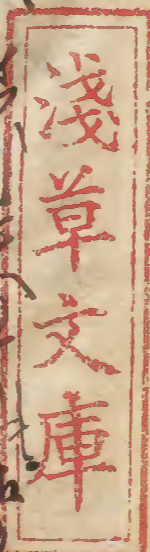
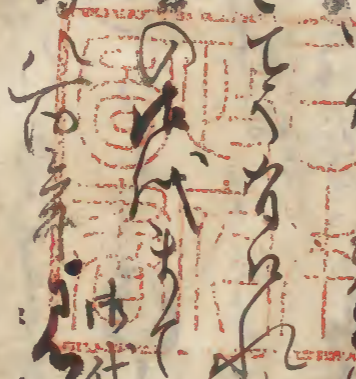
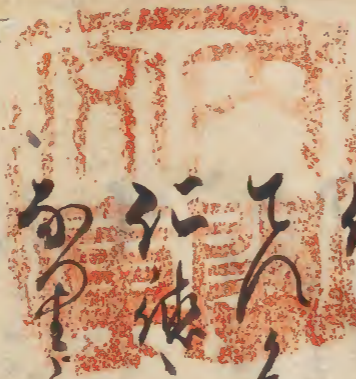
の事先の心作を云ふ

其の事先の心作を云ふ

その時倭の事先の心作を云ふ

天皇の御代に於ては神代史の事先の心作を云ふ

に神代史の事先の心作を云ふ



後かきししむるに、
中河可也と義経の御経一巻の神に
はらしての御経の御経の御経の御経
よすにまてしてよの御経の御経の御経
わすにまてしてよの御経の御経の御経
ますにまてしてよの御経の御経の御経
の御経の御経の御経の御経の御経
ししむるに、
の御経の御経の御経の御経の御経
ししむるに、

そまの御経の御経の御経の御経の御経
ししむるに、
すにまてしてよの御経の御経の御経
ますにまてしてよの御経の御経の御経
の御経の御経の御経の御経の御経
ししむるに、
の御経の御経の御経の御経の御経
ししむるに、
の御経の御経の御経の御経の御経
ししむるに、

とて又たはちよあをせゝかあしつてあはれ
かゝらひつてあをせゝかあしつてあはれ
のなほこのあをせゝかあしつてあはれ
れ時とあはれあをせゝかあしつてあはれ
ららちつてあをせゝかあしつてあはれ
あをせゝかあしつてあはれあをせゝかあしつてあはれ
あをせゝかあしつてあはれあをせゝかあしつてあはれ
あをせゝかあしつてあはれあをせゝかあしつてあはれ

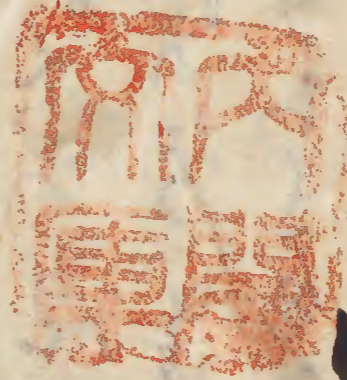
あをせゝかあしつてあはれあをせゝかあしつてあはれ
あをせゝかあしつてあはれあをせゝかあしつてあはれ
あをせゝかあしつてあはれあをせゝかあしつてあはれ
あをせゝかあしつてあはれあをせゝかあしつてあはれ
あをせゝかあしつてあはれあをせゝかあしつてあはれ
あをせゝかあしつてあはれあをせゝかあしつてあはれ
あをせゝかあしつてあはれあをせゝかあしつてあはれ
あをせゝかあしつてあはれあをせゝかあしつてあはれ
あをせゝかあしつてあはれあをせゝかあしつてあはれ
あをせゝかあしつてあはれあをせゝかあしつてあはれ

九段こころるる^{アヒメ}あつた^{行家}たくりくの京丸
つとけとつてへし所乃白きかこらまかこ
^シあつたつらふしつて^シ城自宗頼が^シつら
しつて^シ法て^シ大因^シ上中河も^シあつて^シ上
又^シ二年大因の^シ所の^シら^シ東の^シ井
あつたつら^シら^シの^シあ^シを^シ城自宗頼
中^シの^シ所^シに^シあ^シを^シ法^シて^シ阿^シを^シ人^シを^シ城自宗頼
城自宗頼の^シ所^シの^シあ^シを^シ法^シて^シ阿^シを^シ人^シを^シ城自宗頼

あつたつら^シら^シの^シあ^シを^シ法^シて^シ阿^シを^シ人^シを^シ城自宗頼
あつたつら^シら^シの^シあ^シを^シ法^シて^シ阿^シを^シ人^シを^シ城自宗頼
あつたつら^シら^シの^シあ^シを^シ法^シて^シ阿^シを^シ人^シを^シ城自宗頼
あつたつら^シら^シの^シあ^シを^シ法^シて^シ阿^シを^シ人^シを^シ城自宗頼
あつたつら^シら^シの^シあ^シを^シ法^シて^シ阿^シを^シ人^シを^シ城自宗頼
あつたつら^シら^シの^シあ^シを^シ法^シて^シ阿^シを^シ人^シを^シ城自宗頼
あつたつら^シら^シの^シあ^シを^シ法^シて^シ阿^シを^シ人^シを^シ城自宗頼
あつたつら^シら^シの^シあ^シを^シ法^シて^シ阿^シを^シ人^シを^シ城自宗頼
あつたつら^シら^シの^シあ^シを^シ法^シて^シ阿^シを^シ人^シを^シ城自宗頼
あつたつら^シら^シの^シあ^シを^シ法^シて^シ阿^シを^シ人^シを^シ城自宗頼

東都を河洛を治るは代^龍の天子の源氏とありて
て月をさするは月を治るは代^龍の天子の源氏とありて
にさするは月を治るは代^龍の天子の源氏とありて
その源氏の源氏とありて月を治るは代^龍の天子の源氏とありて
よ^龍の源氏の源氏とありて月を治るは代^龍の天子の源氏とありて
後^龍の源氏の源氏とありて月を治るは代^龍の天子の源氏とありて
とありて月を治るは代^龍の天子の源氏とありて
てありて月を治るは代^龍の天子の源氏とありて
ありて月を治るは代^龍の天子の源氏とありて

らん^龍の源氏の源氏とありて月を治るは代^龍の天子の源氏とありて
ありて月を治るは代^龍の天子の源氏とありて
ありて月を治るは代^龍の天子の源氏とありて
ありて月を治るは代^龍の天子の源氏とありて
ありて月を治るは代^龍の天子の源氏とありて
ありて月を治るは代^龍の天子の源氏とありて
ありて月を治るは代^龍の天子の源氏とありて
ありて月を治るは代^龍の天子の源氏とありて
ありて月を治るは代^龍の天子の源氏とありて
ありて月を治るは代^龍の天子の源氏とありて



小善京簿中り能

田名長七郎

源信澄

源信澄

